

ニュージーランド ー利上げに向けた地ならしー

＜政策金利据え置き＞

12月11日、ニュージーランド準備銀行（以下、RBNZ）は政策金利を3.50%に据え置くことを決定しました。声明文では、ニュージーランド景気が移住者の増加などを背景とした内需の拡大により支えられている事を確認するとともに、トレンドと同じペースもしくは、トレンドを上回るペースで拡大しつづけるという見通しが示されました。GDP成長率の見通しは2015年が+3.5%、2016年が+3.1%、2017年が+3.1%となり、9月時点の見通し（それぞれ+3.6%、+2.7%、+2.3%）から2016年、2017年が上方修正されました。鈍化傾向にあるインフレ率についても2017年に向けて2%へ上向いていく見通しが示されました。

＜ニュージーランドドルの推移＞

RBNZが利上げの一時休止を示唆した7月下旬以降、NZドルは対米ドルで下落傾向が続いていますが、今回の結果を受けてNZドルは反発しました。RBNZの予測する90日物銀行手形金利は9月の予測から引き下げられたものの、利上げが緩やかに行われる可能性が示されました。市場がRBNZのハト派姿勢を見込んでいたなか、前回（10月）の声明文と比較して利上げに向けて一歩進んだ表現となったことがNZドルの支援材料となりました。

11日東京時間午前9時現在、1NZドル=0.782 米ドル、1NZドル=91.98円となっています。

＜為替見通し＞

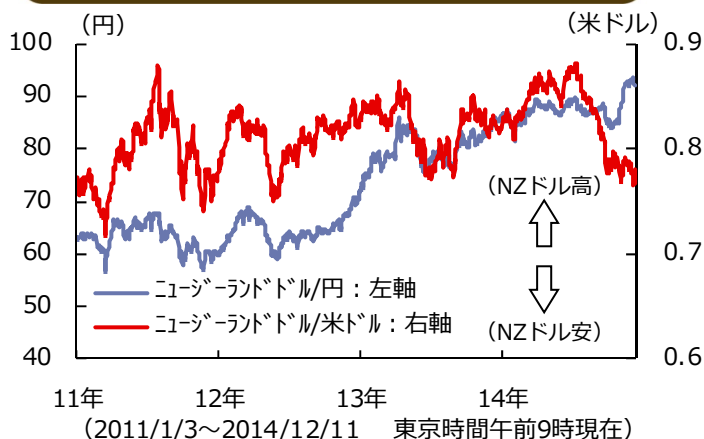
RBNZが利上げに向けた地ならしを行い始めたことで、NZドルは今後の利上げを織り込む展開が期待され、これまで軟調だった対米ドルでの推移に一旦の歯止めがかかるものと予想されます。

また、NZドルは対円では中長期的にしっかりとした推移が続くことが期待されます。日本では今後も金融緩和が続く可能性が高いこと、ニュージーランドは利上げサイクルにあることから金利の高いNZドルが選好されやすい環境にあると考えられます。

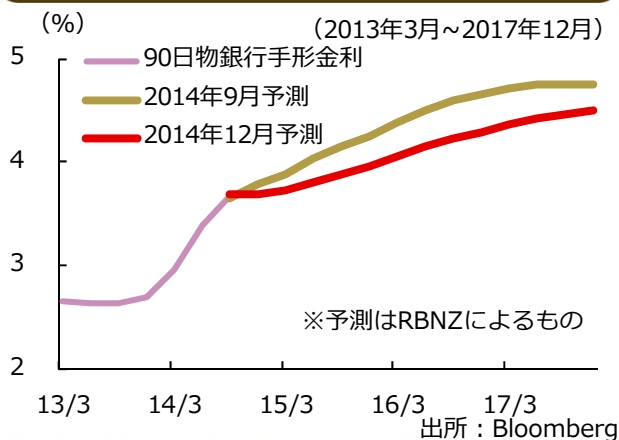
＜政策金利の推移＞



＜NZドル為替の推移＞



＜90日物銀行手形金利の推移＞



■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料(税込)が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 ： 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会